

# 英語スピーキングの指導と評価

## 研究の概要

- 英語で会話をするには、正確さや流暢さ等「言語能力」が必須ですが、それだけでは英語で会話ができるようにはなりません。話をふくらませたり続けたりする「対話能力」が欠かせないのです。
- 「対話能力」を向上させるにはどうすればよいか、小・中学校で行われている Small Talk という活動を用いて「対話能力」を向上させる方法を研究しています。
- 「対話能力」を評価するには、教師やALTと話す「面接型」テストと学習者同士が話す「対話型」テストがあります（図1参照）。小・中学生の「対話能力」を評価するには「面接型」テストと「対話型」テストのどちらが適切なのかを研究しています。
- 研究の成果は、県や市町が主催する教員研修に活かしています。

教師や面接者と話す  
「面接型」テスト



学習者や受検者同士が話す  
「対話型」テスト



図1. 対話能力を評価する2つのテストの型



## キーワード



- 小・中学校外国語教育
- 英語の授業づくり
- 話すこと [やり取り]



教員研修の様子

## 連携アピール



- 15年にわたり、県市町・小中学校主催の公開授業の助言者や教員研修の講師を200回以上担当しました。
- 現在、英語のスピーキング力、とりわけ双方向で話す「やり取り」の力を向上させるための指導と評価を研究しています。

## 研究者



**川村 一代**

准教授

KAWAMURA Kazuyo



教育学部 教育学科

